

市長のあまねくつぶやき

〈十年今昔〉市制施行10周年を迎えて

平成17年7月、宇宙飛行士の野口聡一さんがスペースシャトルに搭乗し国際宇宙ステーションに行きました。日本人宇宙飛行士として初めて船外活動を行い、スペースシャトルの耐熱タイルの修理試験やステーションの姿勢をコントロールしている装置の交換、部品の組み立てなどを行い地球に帰還しました。

10年後の今年7月、油井亀美也さんが日本人宇宙飛行士として国際宇宙ステーション・きぼうでさまざまな任務を行っています。条件がそろえば日の出前と日没後の2時間ほどの間に、地上から肉眼で国際宇宙ステーション・きぼうが見えるそうです。

また、夜空を見上げながらお月見をする方もいると思います。この時期の満月は「中秋の名月」と言われています。中秋とは旧暦の秋（7、8、9月）の真ん中で、8月15日を意味しています。現代歴では、大体9月中旬から10月初旬になります。今年は9月27日が当り日でした。実際の満月の当り日は28日で暦と僅かにズレが生じることもあります。最近、テレビなどでスーパームーンと言われるようになりました。このスーパームーンは月が地球に最も近づいたときに、満月の形になった月の姿のことを言い

ます。今年は中秋の名月とスーパームーンが同時におきる珍しい年だそうです。

国際宇宙ステーション・きぼうの広報に「宙亀日記（そらかめにつき）」という油井さんのコラムが掲載されています。その中で、「結果が直ぐに出なくても諦めずに努力を継続する事で未来の可能性を切り拓くことが出来る！」と語っています。

就職活動や受験勉強中の若者には自らの進路が決まる大事な時期になってきました。悩むことや迷うこともあるでしょうが、今までやってきた努力は一つの無駄もありませんし、これからも努力することはたくさんあります。「きぼう」を持って頑張りましょう。

ただ、少し休憩をするときは、綺麗な夜空を見上げることをおすすめします。

行方市長 鈴木周也



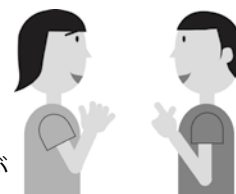
市長へのEメール
投稿用2次元コード



市政に対する意見や
提案をメールでお寄せ
ください。

はい、こちら行方市消費生活センター！

急増中相談情報!! ～ IP 電話編～



近年、IP電話（インターネット技術を利用した電話）に関するトラブルのご相談が急増しています。IP電話は、便利に利用される一方、全国の消費生活センターでは、さまざまなトラブルの相談が寄せられ、2014年度の相談件数は、2010年度の約2倍となりました。要因として、IP電話が急速に普及し、IP電話での固定電話利用者数が増加したこともありますが、サービス内容もさまざまであり、契約も複雑であることがいえます。

相談の内訳をみると、特に高齢者からの相談が多く、その内容は「電話勧誘で電話料金が安くなると言われたのに安くならなかった」「契約した覚えがないのに契約されていた」等の勧誘や契約に関するトラブルをはじめ、「これまで利用していたサービスが利用できなくなってしまった」等、契約した後のサービス利用に係るトラブルも寄せられています。

これらのトラブルを防ぐためにも、特に電話勧誘などの不意打ち的な勧誘を受けた際は、その場で了承せずにご家族や友人に相談するようにしましょう。また、IP電話はクーリング・オフができない取引になりますので、一度契約してしまうと容易に解約はできません。契約をする際は、慎重に対応しましょう。そのほか、勧誘がしつこいなどのご相談も多くあります。対応などでお困りの際は、お気軽に行方市消費生活センターにご相談ください。

— まずはお電話を! —

【問い合わせ】行方市消費生活センター TEL 0291-34-6446